



～地球(足元の学校を)を変えてきた板二小の子どもたちが～ “50年後の板橋を考える”

板橋区立板橋第二小学校 6年 根本矢 学級

研究テーマ「豊かに感じ、自分で考え、行動しようとする児童の育成」

4年にわたって、各教科と環境教育を研究している板橋第二小学校。昨年の環境教育研究発表後も、引き続き、環境教育の研究を続けています。これまで、学校の環境を変えてきた6年生は、これからの板橋の環境を考えるテーマとして、「50年後の板橋を考えよう」に取り組んでいます。



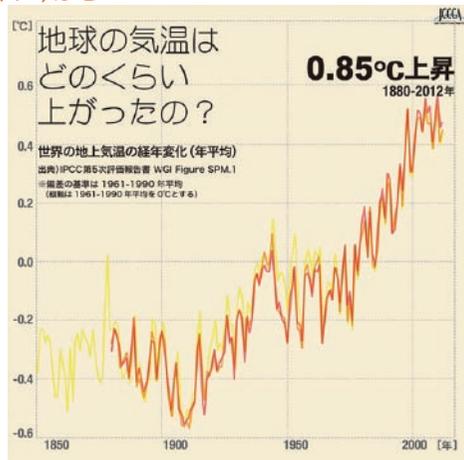
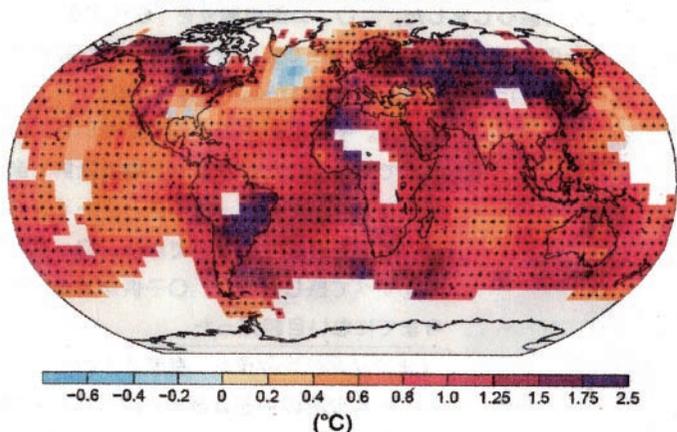
この3年間で、板二小の子どもたちは、ビオトープ作り、生きもの・食べもの・自然の俳句作り、樹木の植栽、鳥の巣箱作り、緑のカーテン、ゴミを減らす、地球環境課題の調査、リサイクルを生かした工作、みそ作り、藍染めと作品づくりなどを、全て各教科の中で結合して学びながら、足もとの学校の環境を大きく変えてきました。その証にこんなに生きものが!!

～板二小に生息・飛来している生きものたち～ アズマヒキガエル・ツマグロヒョウモン・アゲハ・キアゲハ・クロアゲハ・モンシロチョウ・モンキチョウ・シジミチョウ・ニホンミツバチ・コマルハナバチ・トラコルハナバチ・スズメバチ・クロヤマアリ・カゲロウ・アキアカネ・シオカラトンボ・ショウジョウトンボ・オニヤンマ・ギンヤンマ・アオカメムシ・アメンボ・アブラゼミ・ニイニイゼミ・ミンミンゼミ・ヒグラシ・コオロギ・ツマグロヨコバイ・ダイコンアブラムシ・カマキリ・ハラビロカマキリ・カマドウマ・ダンゴムシ・コガネムシ・クモ・ジョロウグモ・ムカデ・ヤスデ・カタツムリ・オンブバッタ・マルガタゴミムシ・シデムシ・ナナホシテントウ・フタホシテントウ・ゴマダラカミキリ・カナブン・ハサミムシ・ハナムグリなど

しかし、観測された地上気温の変化(1901～2012)は?

～2013年IPCC第5次報告書(国連気候変動に関する政府間パネル)から

観測された地上気温の変化(1901～2012年)



第50回東京都小中学校環境教育研究発表会

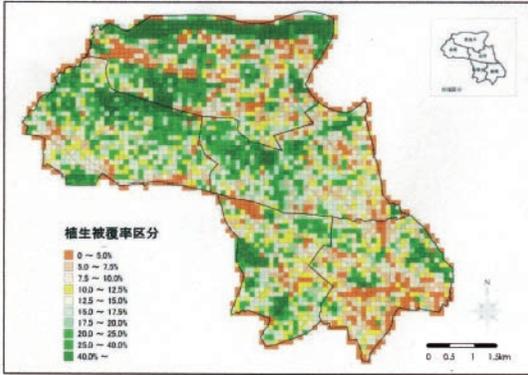
2015.1.30(金)13:45～
於板橋区立板橋第二小学校

研究主題「持続可能な社会づくりのための環境教育の推進—環境教育によって育む学力と環境保全意欲」

記念講演◎「持続可能なエネルギーの現状と未来」環境エネルギー政策研究所飯田哲也氏

現在、板橋区は、緑を増やす努力をずっと続けていますが、現状は、特殊な航空写真で、ペランダの鉢植えも緑にカウントして加えても、19.6%という現状です。

② 植生被覆率の状況



緑被率の推移

- 平成元年からの緑被率の推移をみると、平成16年までは減少傾向にあったものが、平成21年には増加に転じています。
- 内訳をみると、平成21年には樹木被覆地は大幅に増加していますが、農地の減少が大きく、平成元年度の調査結果と比較すると約3分の1となっています。

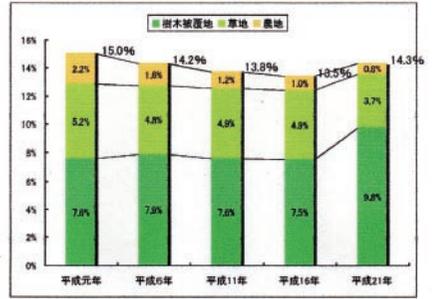


図 板橋区の緑被率の推移

・図は100㎡以上の緑被地について比較したもの
 ・1㎡単位で抽出を行った場合の緑被率は19.6%（平成21年）となる

図 植生被覆率分布図（100mメッシュ）

出典：緑被率調査・緑被率調査（昭）平成22年

板橋区の温室効果ガス排出量とこれからの予想

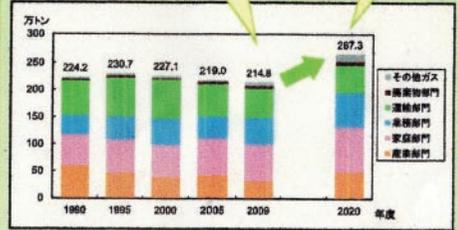
2. 板橋区の温室効果ガス排出量

2009（平成21）年度の区内の温室効果ガス（二酸化炭素、一酸化二窒素、メタンなど）総排出量は、214.8万トンであり、1990（平成2）年度の224.2万トンに対し、4.2%の減少となっています。

今後、新たな対策を実施しないまま推移すると仮定した場合、2020（平成32）年度の区内の排出量は、267.3万トンで、1990（平成2）年度と比べて19.2%増加、2009（平成21）年度と比べて24.4%増加すると予測されます。

- ・2009（平成21）年度は、1990（平成2）年度より4.2%の減少
- ・家庭、業務、廃棄物部門が増加傾向
- ・産業、運輸部門は減少傾向

原子力発電所の運転停止による排出係数の増加、世帯数の増加等により、排出量の増加が見込まれる



～過去・現在を学んで、板二小6年生が考えたこと・実現したい課題例～

《考えたこと例》

- ① 小さいことでもたくさんやれば、変化するんだな。
- ② 100年間で、温暖化を元にもどすための取り組みをする。
- ③ 小さい自然を作っても少し変化があるんだなと思った。
- ④ 自然がたくさんあることは大切。つくることが大切。
- ⑤ どんどん緑が減り同じように生きものが減っている。
- ⑥ 板二小の周辺には動植物がほとんどいない。
- ⑦ きれいな川もあるがまだ、汚れた川がある。
- ⑧ 3Rはこれからも大切である。

《実現したいこと》

- ① 自然を増やす。
- ② 川にゴミを流さない。
- ③ あそび場を増やす。
- ④ 緑や動物がたくさんいる地域の人が満足できる地域。
- ⑤ 地球を少しでも救える地域。
- ⑥ きれいな自然がある地域。

《実現したいこと例》

- ① 少しでも温暖化を防ぐ

《実現できるように自分自身ができる方法》

節電する・節水する。

《実現可能か？》

実現できる

- ② 水や空気をきれいにするにはどうすればよいか

川や海にゴミを捨てない。

実現できる



「エネルギー源をくらべ、環境に負荷をかけないエネルギーを調べよう」

板橋区立わかしお学校 3～6年

11月1日、わかしお学校で、在校生に、エネルギーの授業を行いました。3・4年生は上級生のリードの下、一緒に真剣に話を聞き、風力発電の実験を行いました。

その後、3つのエネルギー源『化石エネルギー・原子力エネルギー・自然エネルギー』の長所と短所を資料から読み取り、比べていきました。その結果をグループごとに発表し、みんなで共有したものが右の写真です。わかしお学校の子どもたちは、化石エネルギーでは、良いところとして“直ぐに使える”“施設が多い”、短所として“CO₂が出る”“石油や石炭を使うとなくなる”など、資料からしっかり読みとり、エネルギーに関心を高めていきました。



わかしお学校産みそづくり

板橋区立わかしお学校 3～6年

10/31、3～6年まで33名が縦割りのグループで、とても仲よくみそづくりを楽しみました。

- 😊3年
 - ④大豆からいっぱい食べ物が作られていることがわかった。
 - ④大豆はアメリカやカナダから輸入されている。
 - ④足で踏んだ時、グニャグニャ楽しかった。
 - ④醤油が大豆から作られているのを初めて知った。
 - ④大豆はいろいろすごいな!
 - ④大豆は何でも出来ていいな。
- 😊4年
 - ④僕は大豆が大好きであんこと一緒に食べるととてもおいしい。納豆や豆でも大好き。
 - ④大豆から味噌に変わるまでがとても大変だとわかった。
 - ④味噌はこうじて発酵させていくことがわかった。
 - ④大豆は色々な食品にできる。
 - ④大豆からとうふを作るとは知っていたが、みそができるとは。
 - ④大豆が外国からきていることがわかった。
 - ④10か月も寝かせる。
 - ④空気がカビの原因になってしまうこと。
- 😊5, 6年
 - ④大豆で味噌汁を作ることがわかった。今度から残さない。
 - ④大豆はこんなにおいしいみそ汁を作ることができるんだな。
 - ④手前味噌を作ることができる。味噌汁がとてもおいしかった。(昨年仕込んだ)
 - ④多くの食べ物ができる。すごいな。
 - ④塩、こうじ、大豆を混ぜてラップをして半年ということが勉強になった。
 - ④手作りみそを食べてとてもおいしいと思った。
 - ④味噌を投げ込むことで、カビの原因の空気を減らすことができる。
 - ④大豆は枝豆、もやし、油揚げ、ゆば、おからができる。
 - ④今回は国産だった。アメリカ、カナダのが多い。それだとCO₂を多く排出するから国産の大豆を使った納豆とか甘納豆を買いたい。
 - ④グループの中で喧嘩なく仲よく分担したり楽しく作業できた。
 - ④食べている納豆とかはだいたいアメリカ産やカナダ産等の外国から輸入したもので驚いた。今度大豆製品を買う時はどこ産か、見て買いたい。日本の大豆で作った味噌は美味しかった。

スタッフ 長森律子さんの話—集中して話を聞いて最高でした。高学年がとてもよく面倒を見ていた。大豆をよくつぶしてくれた。呉汁(大豆の煮汁)を飲んでもらうと「おいしいおいしい」と言って飲んでいて、学校側がよく準備してくれた。

イチヨウの精 キロリの不思議ないのり — 晩秋の王者・銀杏の葉が生きものの姿へ —

晩秋、地上を真っ黄色に埋め尽くす、イチヨウの葉。白亜紀から、この地球上に存在してきたといわれる植物の化石、イチヨウ。すぐれた生命力はその葉に込められています。SOE は、イチヨウの精 キロリの不思議な祈りを紙芝居にして、各保育園児や区民の親子たちに願いを届け一緒に作品を作ってきました。今年は、イチヨウの舞う姿が特に美しく、その下で作品づくりに熱中する子どもたちの姿が感動的でした。

11/11 常盤台保育園5歳児 於 平和公園



11/13 こぶし保育園3・5歳児 於 団地内公園



11/16 家政大尾崎ゼミと成増社教共催 於 平和公園



「おそとカフェ」で、公園に来た親子にイチヨウの紙芝居を読む学生

11/18 若木保育園4歳児 於 若木原公園



11/20 坂上保育園4・5歳児
於 島下公園



12/2 くるみ保育園4・5歳児 於 赤塚公園



12/4 志村橋保育園
於 浮間公園



12/5 坂下保育園4・5歳児 於 城北交通公園



発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp